

海南省概況

2014年6月 J E T R O 広州

概略

政治・行政体制

2013年経済概況

海南省が全国に占めるシェア (2013年)

経済の動向

マクロ経済データの推移

●概況：海岸線が1,528Kmと台湾に次ぐ中国第2の島。海口市から対岸の広東省は瓊州海峡を挟んで50km程。香港へは飛行機で約1時間。海洋性熱帯気候の特性が強く、ゴム、椰子、ピンロウ、コーヒー、マンゴー、胡椒等の熱帯植物が豊富。鉱物資源については、周辺海域に天然ガス坑が複数あるほか、ガラス原料、宝石、花崗岩などを多く産出。このほか、天然水など地下水も豊富。南部の三亚市は、中国では有数のリゾート地。

●経済発展：88年に広東省から分離し海南省に。同時に経済特別区に指定される。2009年12月31日に国务院に「国際観光島」として認められ、現在は、道路、港湾、観光施設などインフラの整備に注力しており、第三次産業が高速で成長しつつある。日系など外資の集積はまだ少ない。2014年には、海馬汽車、海南航空、海南天然橡胶が中国企業500強に選ばれた。うち、海馬汽車は毎年500強にランクインしている。

●博鳌フォーラム：細川護熙元首相などの提唱を受け2001年2月に海南省博鳌市に設立された。非政府・非営利の国際組織であり、経済、社会、環境等の問題に関し、政・財・学などの関係者が対話を行うプラットフォームである。2002年から毎年総会を開催している。

（出所）中国国家统计局及び海南省政府の各HP、『海南省統計年鑑』各年版、2013年海南省統計公報、博鳌フォーラムHPから作成。